

第2回 荒川流域エコネット地域づくり推進協議会

議 事 要 旨

■ 日 時：令和3年3月4日（木） 14：00～15：30

■ 場 所：Web会議形式（Zoom）

■ 議事要旨

1. 第2回 荒川流域エリア・ワーキングの開催経緯について

(1) 設立趣意、開催経緯、主なご意見等【資料1】

・荒川流域エリア・ワーキングの開催経緯について説明を行った。

2. 荒川流域エリア・アクションプランの策定について

(1) アクションプラン（最終案）の確認【資料2】

・アクションプラン（最終案）について確認を行った。

(2) 各委員よりご意見「アクションプランに期待すること」

・「アクションプランに期待すること」について、意見交換を行った。

3. 今後の取り組みについて

(1) ワーキングの組織継続（規約改定）の確認【資料3】

・荒川流域エリア・ワーキングの組織継続（規約改定）に関して確認を行った。

(2) 取り組みスケジュールに関する確認【資料4】

・次年度以降の取り組み方針について確認を行った。

■ 配布資料

- ・ 議事次第／出席者名簿／規約・委員名簿
- ・ 資料1：荒川流域エリア・ワーキングの開催経緯について
- ・ 資料2：荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン（最終案）
- ・ 資料3：荒川流域エリア・ワーキング 規約改定（最終案）
- ・ 資料4：取り組み推進スケジュール

■出席者

構成	氏名	団体名等
学識経験者	浅枝 隆	埼玉大学 名誉教授
	高木 嘉彦	(公財)埼玉県公園緑地協会 埼玉県こども動物自然公園 副園長
	日橋 一昭	(公財)東京動物園協会 総務部 教育普及センター所長
	長谷川 雅美	東邦大学 理学部 教授
関係自治体	原口 和久	鴻巣市長
	三宮 幸雄	北本市長
	永濱 裕也	川島町 農政産業課 主任
関係行政機関	窪田 美佳	埼玉県 環境部 みどり自然課 主幹
	岩上 秀雄	埼玉県 農林部 農村整備課 主幹
	佐野 正明	埼玉県 県土整備部 水辺再生課 副課長
	赤道 正悟	国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課長
	藤本 雄介	国土交通省 関東地方整備局 荒川上流河川事務所長
オブザーバー	橋本 潤二	農林水産省 関東農政局 農村振興部 農村環境課 環境保全官
事務局	米沢 拓繁	荒川上流河川事務所 副所長
	鬼頭 岳彦	荒川上流河川事務所 河川環境課長

■ 議事内容

1. 荒川流域エリア・ワーキングの開催経緯について

(1) 設立趣意、開催経緯、主なご意見等の説明

○ 事務局

【資料1】荒川流域エリア・ワーキングの開催経緯について説明

→意見なし。

2. 荒川流域エリア・アクションプランの策定について

(1) アクションプラン（最終案）の確認

○ 事務局

【資料2】荒川流域エコネット地域づくりアクションプラン（最終案）を確認

→アクションプランを承認した。

(2) 各委員よりご意見「アクションプランに期待すること」

○ 浅枝座長

昔から荒川流域は自然が豊かで、河川により育まれた歴史・文化に支えられてきた地域である。そういった地域でコウノトリをはじめとする自然を再びよみがえらせる取り組みは、日本を代表する活動になると考えている。アクションプランの推進によって、荒川流域が魅力ある地域になっていくことを期待している。

○ 高木委員

アクションプランが完成したことは感慨深い。アクションプランが実行される中で、関東地方におけるコウノトリの野生復帰が実現されることを期待している。

○ 日橋委員

アクションプランがうまく実行され、コウノトリが選んでくれるような良い場所を皆さんと一緒につくっていただければよいと考えている。活動内容やアクションプランの成果を、可能な限り数値化するなど、分かりやすくすることで、地域にすむ皆さん誰もが、アクションプランに参加してもらうような取り組みになればよいと期待している。

○ 長谷川委員

関東でコウノトリが比較的集中して飛来しているのは渡良瀬エリア、野田エリア、神栖エリアである。渡良瀬エリア、野田エリアはともに利根川水系で複数の河川が合流するため治水上重要な場所であり、遊水地の整備をはじめとして様々な治水対策が行われている。荒川上流エリアも一昨年に入間川の破堤があり、治水上重要な場所である。アクションプランと治水対策を情報共有しながら進めていくことが重要である。事務局から委員へ向けてどのような治水対策工事が行われているかもご紹介いただき、

連携しながらアクションプランを実行していくことを期待している。

○ 鴻巣市

鴻巣市では3月にコウノトリの飼育施設が完成する。飼育の仕方等、先生方からご指導いただき、可能な限り早くコウノトリの雛の誕生、ひいては野生復帰を実現していきたいと考えている。コウノトリの野生復帰を目指すにあたり、多くの生きものが生息できる環境づくりが重要だと考えている。採餌環境の整備を進めるにあたって、多くの皆様にご協力いただきたく、また財政的な面も含め、国や県の皆様にもご支援いただければ幸いである。

○ 北本市

コウノトリの舞う環境を取り戻すことが重要である。そのために北本市としてはアクションプランに期待することは3点ある。1点目は、荒川流域エリアの自然の豊かさを高めるため、斜面林や荒川旧流路の保全・再生に取り組んでいただきたい。2点目は、エコネット地域づくりは北本市内の埼玉県自然学習センターの積極的な協力によって取り組みが進められており、北本市で森林セラピーを推進している場所でもあり、埼玉県自然学習センターと協力してアクションプランを進めてほしい。3点目としては、今後のエコネットの取り組みにおいては住民参加が重要となるため、北本市内の環境保全に取り組む市民団体ともエコネットの活動で連携していただきたい。

○ 川島町

環境保全と地域活性化が今後10年でさらに加速化されていくことを期待している。また、地域の子どもたちをアクションプランの活動に巻き込んでいくことを要望したい。川島町においてはアライグマの外来種問題を抱えており、広域で皆様と連携してアライグマの駆除対策を推進していくことを期待している。

○ 埼玉県みどり自然課

これからアクションプランの取り組みを皆様と協力して進めていきたい。埼玉県自然学習センターやアライグマ駆除に関しては、当課は直接関わりがあり、連携協力して進めていきたい。コウノトリを頂点として、人を含め、動物も植物も賑わいのある荒川流域が近い将来広がっていることを期待したい。

○ 埼玉県農村整備課

アクションプランにおいて、河川内だけではなく農地も対象として頂いたことをうれしく思う。多面的機能支払の取り組み等を通じて、農林行政として協力できることを続けさせていただきたい。越辺川、都幾川の農業用取水堰の魚道が概ね今年度で出来上がる。魚がのぼれるようになれば、コウノトリにも良い影響が与えられることを期待している。

○ 埼玉県水辺再生課

自然環境に係る有識者の方や地域の環境団体の方にも事業に参加いただいで良好な河川環境の保全を進めている。アクションプランに期待することとしては、特にプラン②について、川の再生事業の中で実施している美化活動と連携させていただきたい。また、プラン⑤エコツアーの推進支援において、河川区域を民間事業者へ開放することに伴う集客要素の提供により、施策連携ができると考えている。今後も河川環境の利活用や、持続可能で良好な河川環境づくりのために施策を展開し、協議会を通じて荒川流域における地域づくりへの取り組みとの連携も検討していきたい。

○ 関東地方整備局 河川部 河川環境課

アクションプランの推進によって、荒川流域エリアにおいて、環境、地域振興、防災を含め、魅力的な地域づくりが進められていくことを期待したい。また、関東全体のエコネットの形成につながっていくことを期待したい。地元の地域関係者の皆様と連携して取り組むことが重要であり、関東全体の推進協議会としても連携のうえ支援していきたい。

○ 荒川上流河川事務所

荒川の環境は人の営みと自然の営みにより形成されてきており、今後もそういった視点を取り入れた地域づくりを関係者がそれぞれ主体的に行いつつ、かつ連携しながら実施していく行動計画ができたと考えている。

荒川上流河川事務所では鴻巣市大間地区で湿地再生のための掘削工事を行っている。湿地再生によって多様な動植物が生息する環境が創出され、コウノトリをはじめとする大型水鳥の良好な餌場となることを期待している。また、行人排水樋管の水路において、堤防の内外を繋げることで生物の生息場所が広がることを期待し、樋管管理者の鴻巣市にご協力いただきながら、落差対策整備を進めている。荒川太郎右衛門地区や三ツ又沼ビオトープの取り組みと併せ、皆様と連携しながら、自然環境の保全と地域振興の取り組みを進めていきたい。

3. 今後の取り組みについて

(1) ワーキングの組織継続（規約改定）の確認

○ 事務局

【資料3】荒川流域エリア・ワーキング規約（改正案）の確認

→荒川流域エリア・ワーキング規約（改正案）を承認した。

(2) 取り組みスケジュールに関する確認

○ 事務局

【資料4】取り組み推進スケジュール（予定）の確認

→次年度以降の取り組み方針について確認を行った。

○ 鴻巣市

アクションプランを実行する予算を財源として確保した方がよいのではないかと。

○ 事務局

予算がかかるものについては、ワーキングの中で事前に情報共有しながら進めていきたい。来年度はマップづくりなどにおいては、自治体の皆様には情報提供という形でご協力いただき、荒川上流河川事務所で頂いた情報をとりまとめるという役割分担で進めていくことを想定している。

・ 閉会の挨拶

○ 荒川上流河川事務所 藤本事務所長

皆様のご協力のおかげでアクションプランを策定するにいたることができた。アクションプランは継続的な取り組みとして実行していくことが重要であると考えている。また、エコネットの取り組みを地域の皆様に意識していただくきっかけとしていくことが重要であると考えており、今後とも、皆様にご協力をいただけますようお願いしたい。

以 上